



カベピタ 壁厚収納

施工業者様へ

- 本製品の性能と安全性を確保するため、この施工説明書(p.1～)をよくお読みいただき、手順どおりに正しく施工してください。
- 本説明書内の   マークや **お願い** のあとには、施工上重要な内容が記載されていますので、注意深くお読みいただき、よく理解してから作業してください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。
- 製品を廃棄する際は、法律および地方自治体の規則に基づいて適切に処理してください。
- この施工説明書には、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容が記載された「取扱説明書」が合冊されています。必ず、この説明書をお施主様に手渡し、使用方法を説明していただきますようお願いいたします。

※この取扱説明書は弊社HP <https://www.daiken.jp/qr/manual/> からダウンロードできます。



このたびは大建製品「カベピタ 壁厚収納」をご採用いただき、ありがとうございます。

■施工の際は、以下の工具をご用意ください。

- ドリルドライバー
(+2番ビット・φ4.5ドリルビット)
- 電動ドリル
- 手回しドライバー
- コンベックス等測定機器
- 水準器

もくじ

施工説明書

1. 安全上のご注意	1
2. 製品寸法図	2
3. 部品・部材表	7
※施工前に必ずご確認ください	
4. 納まり図	9
5. 施工前の準備・確認	10
6. 施工方法	12

取扱説明書

7. ご使用上の注意	18
------------	----




1. 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)

本製品をお施主様が末永くお使いいただけるように、またトラブルのない確実な施工を行うために、以下のことを必ずお守りください。


1. 警告表示の種類と内容


	警告	誤った取扱いにより死亡や重傷などに結びつく可能性のある内容		注意	誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつく内容
---	-----------	-------------------------------	---	-----------	---------------------------------


本文中に使われている図・記号の意味は次のとおりです。


	してはいけない内容です		必ず実行していただく内容です		留意事項、操作方法、使用・お手入れ方法など
---	-------------	---	----------------	---	-----------------------

警告


 製品を壁内に設置する前に、下地に十分な強度があることを必ず確かめてください。十分な強度がない下地に固定すると、製品製品が外れたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

 製品を壁内へ設置する際は、指定された種類・本数のビスで、確実に柱に固定してください。指定外のビスを使ったり、本数が少ないと、製品が外れたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。


 電気工事は、必ず資格を有する専門電気業者様がおこなってください。


 製品の分解や改造はしないでください。施工時に製品の形状を変えるような加工などがされた場合は、品質保証責任を負いかねます。


注意


 外壁に面した内壁に取り付ける場合は、必ず本体裏面側の壁内に適切な厚みの断熱材を入れてください。本製品は断熱・防水仕様ではありません。


 製品を壁内に設置する前に、必ず指定の位置に下地枠を設けてください。

 施工時の製品の取扱いにご注意ください。落下や衝突により、キズ、凹みがつく場合があります。

 扉の取付け・調整は、本文を参照し、正しく確実に実施してください。丁番の破損や扉の脱落の原因となります。

 屋外や常に直射日光が当る箇所、および水がかりのおそれがある箇所には設置しないでください。本製品は、一般住宅の屋内用製品です。屋外での使用、直射日光や水濡れは、製品の変形・変色、感電、ショートの原因となります。

 床上にじかに設置せず、必ず巾木などのスペースを設けてください。扉が開かなくなるおそれがあります。

 ビスで固定する場合、電動ドリルなどで締め付けすぎないようにしてください。ビスを締め付けすぎると空回りして適正なビスの保持力がなくなり、扉が脱落し、怪我の原因となります。

 **お願い** 養生テープを直接製品に貼らないでください。表面化粧がはがれたり、粘着剤が残る可能性があります。

2. ホルムアルデヒド発散区分資料

■規制対象外 (F☆☆☆☆)

構成部位	内装仕上げ部分(表面)				下地部分(裏面・内面)		
	ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分	認定番号	ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分	認定番号	
① 扉	ウッド扉	化粧PB	日本建材・住宅設備産業協会登録品	規制対象外(F☆☆☆☆)	K-002603	同 左	
② カウンター・書棚棚板	ニッチ・書棚	化粧MDF	日本建材・住宅設備産業協会登録品	規制対象外(F☆☆☆☆)	K-002058	同 左	
	サニタリー引戸用カウンター	塗装MDF	日本建材・住宅設備産業協会登録品	規制対象外(F☆☆☆☆)	K-000018	同 左	
③ ボックス	側板・底板・天板・中仕切板	化粧PB	日本建材・住宅設備産業協会登録品	規制対象外(F☆☆☆☆)	K-002603	同 左	
	固定棚	—	—	—	—	化粧PB 日本建材・住宅設備産業協会登録品 規制対象外(F☆☆☆☆) K-002603	
	背板(ニッチ 他)	—	—	—	—	化粧合板 大臣認定品 規制対象外(F☆☆☆☆) MFN-0138	
	背板	—	—	—	—	化粧MDF 日本建材・住宅設備産業協会登録品 規制対象外(F☆☆☆☆) K-002061	
	格納イス座板	化粧MDF	日本建材・住宅設備産業協会登録品	規制対象外(F☆☆☆☆)	K-002058	同 左	

■規制対象外部位・告示対象外

構成部位	区分
④ 自在棚・コンセント台など	規制対象外部位：規制対象外 (F☆☆☆☆)
⑤ アルミフレーム扉・丁番など	告示対象外
⑥ 塗装鉄板	告示対象外

2. 製品寸法図

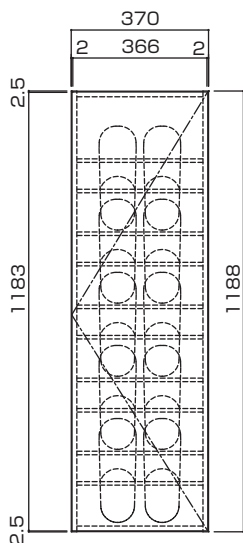
スリッパ収納

※扉の吊元は左右兼用です。

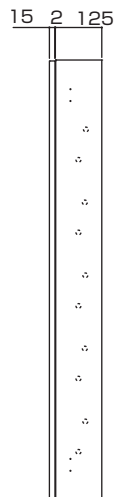
平面図



正面図



側面図

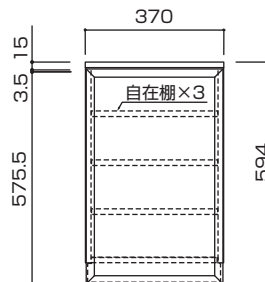


サニタリーS引戸

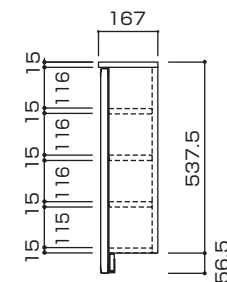
平面図



正面図

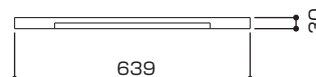
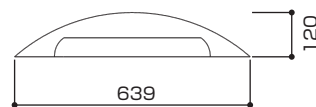
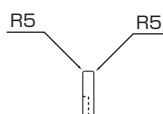


側面図



サニタリー用カウンター

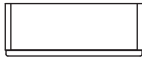
※引戸370S専用



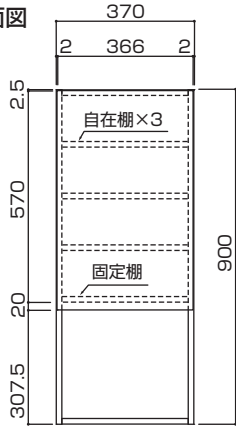
サニタリー

370M (H900)

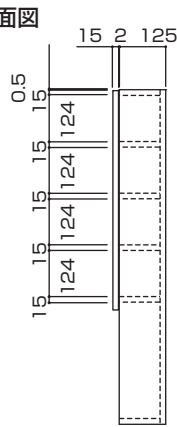
平面図



正面図

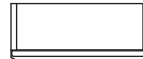


側面図

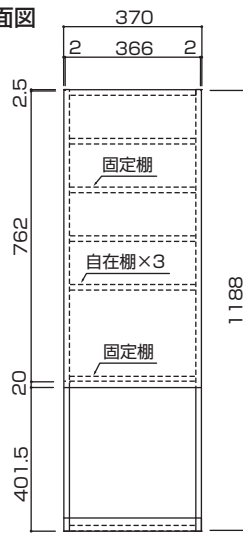


370L

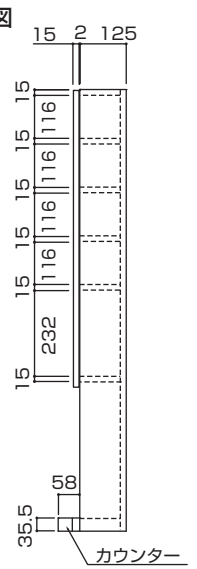
平面図



正面図



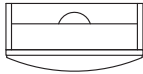
側面図



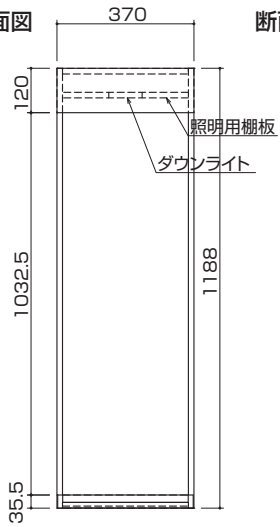
ニッチ

370L

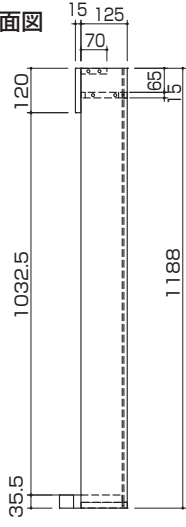
平面図



正面図

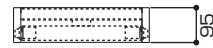


断面図

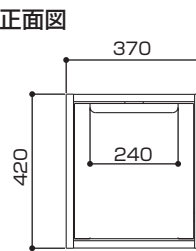


格納イス

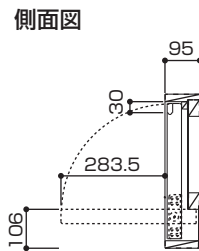
平面図



正面図



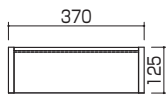
側面図



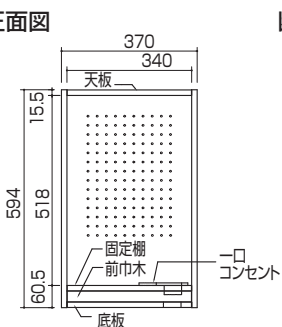
ディスプレイ

有孔ボード 370S

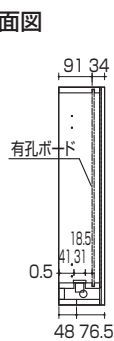
平面図



正面図

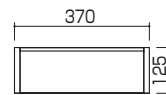


断面図

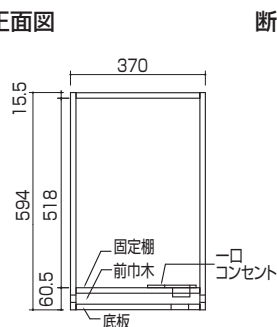


マグネット 370S

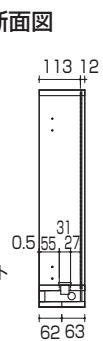
平面図



正面図



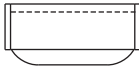
断面図



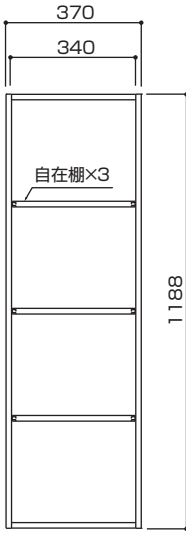
書棚

370L

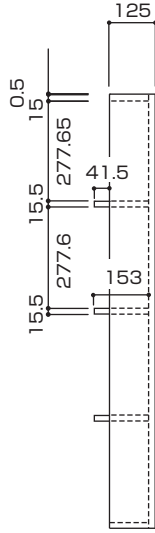
平面図



正面図



側面図

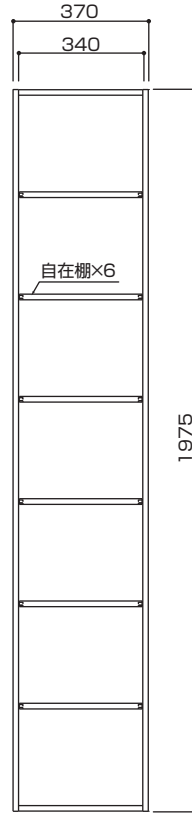


370H

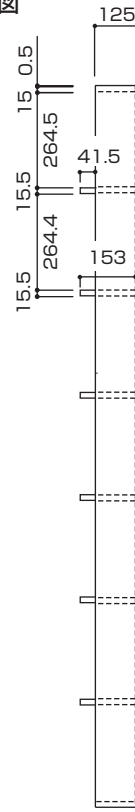
平面図



正面図

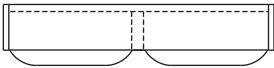


側面図

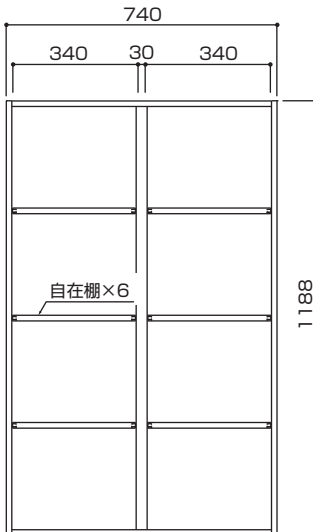


740L

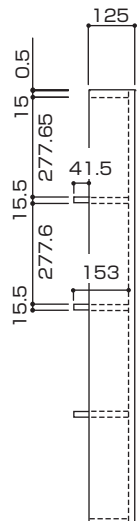
平面図



正面図

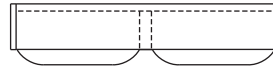


側面図

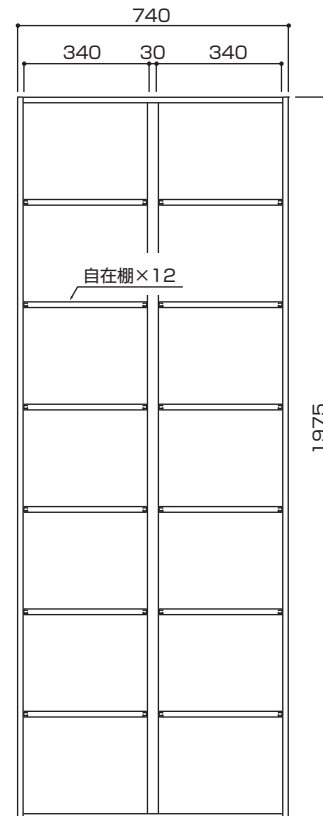


740H

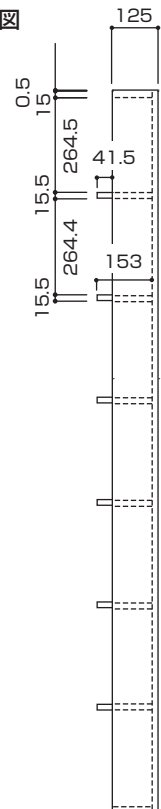
平面図



正面図



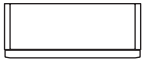
側面図



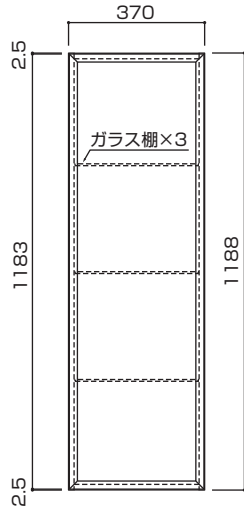
1. 安全上の
ご注意
2. 製品
寸法図
3. 部品
材表
4. 納まり
図
5. 施工前
の準備・
確認
6. 施工
方法
7. 使用
上の注意

飾り棚

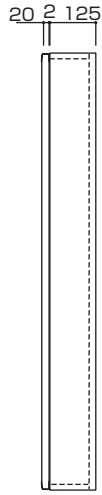
370L
平面図



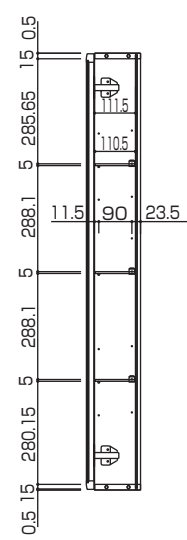
正面図



側面図



断面図

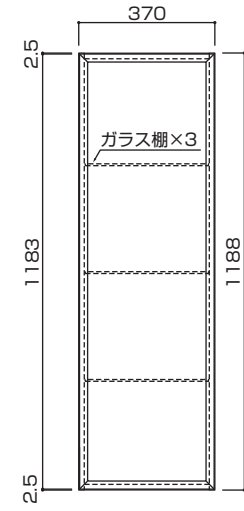


姿見

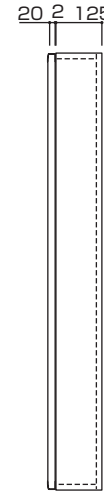
370L
平面図



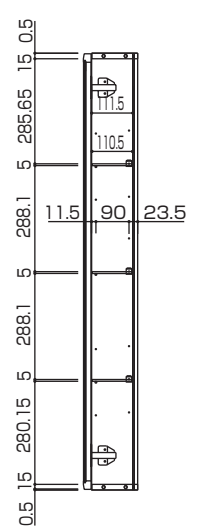
正面図



側面図



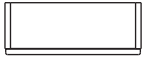
断面図



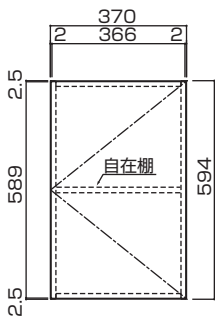
ウッド

※扉の吊元は左右兼用です。

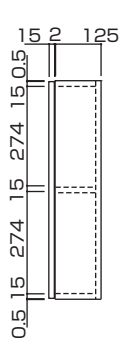
370S
平面図



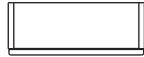
正面図



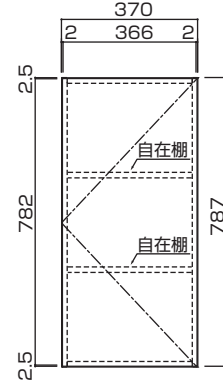
側面図



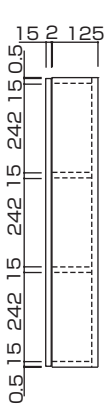
370M
平面図



正面図



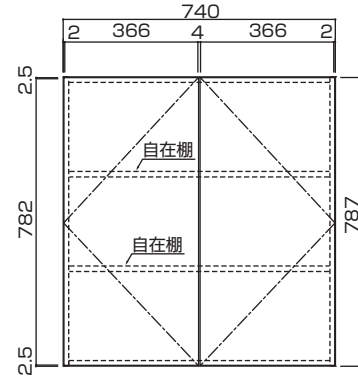
側面図



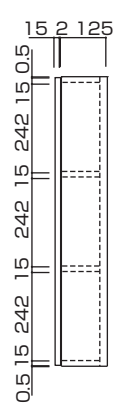
740M
平面図



正面図



側面図



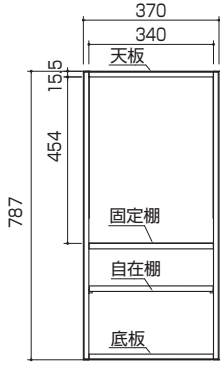
ミラーシェルフ

※扉の吊元は左右兼用です。

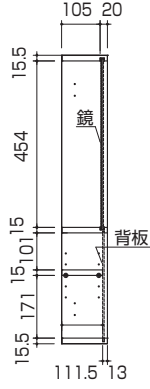
370M
平面図



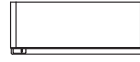
正面図



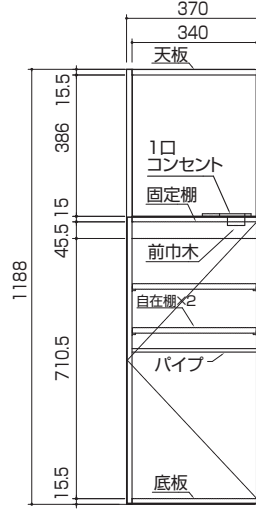
断面図



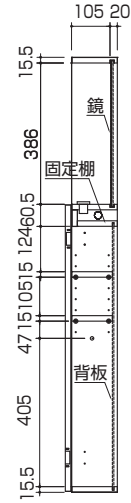
370L
平面図



正面図



断面図

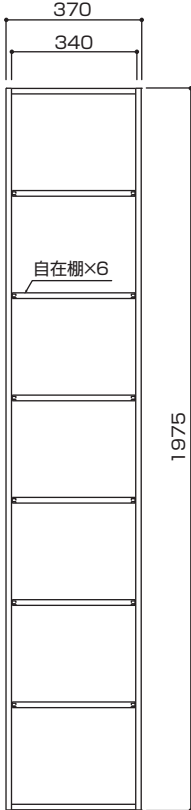


ルームポケット

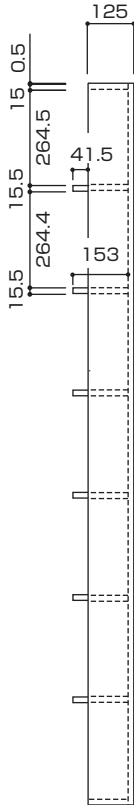
370H
平面図



正面図

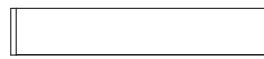


側面図

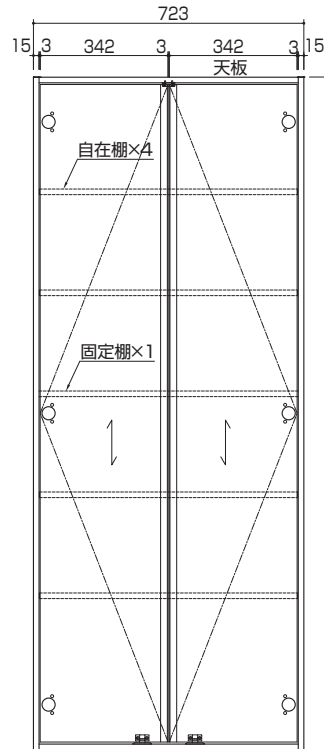


ストックキーパー

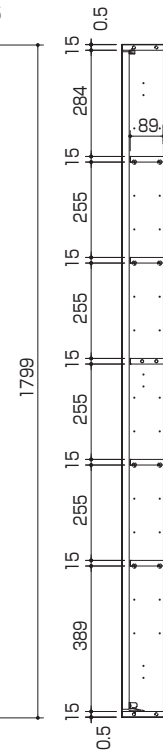
平面図



正面図



断面図



1. 安全上の注意
2. 製品寸法図
3. 部品表
4. 納まり図
5. 施工前の準備・確認
6. 施工方法
7. ご使用上の注意

3. 部品・部材一覧

1. 梱包の種類

梱包の種類	ウッド			サニタリー			スリッパ 収納	ニッチ
	370S	370M	740M	370S 引戸	370M	370L	370L	370L
本体	1	1	1	1	1	1	1	1
扉	片開き扉		両開き扉	専用引戸 (本体取付け済み)	片開き扉	片開き扉	片開き扉	-
	1	1	1	-	1	1	1	-
カウンター	-			サニタリー 引戸用 カウンター	-	ニッチ カウンター 370L	-	ニッチ カウンター 370L
	-			1	-	1	-	1
棚板	(本体同梱)							

梱包の種類	書棚				飾り棚	姿見	ディスプレイ		ミラーシェルフ		ルーム ポケット	ストック キーパー
	370L	740L	370H	740H	370L	370L	370S 有孔ボード	370S マグネットボード	370M	370L	370L	-
本体	1	1	1	1	1 (書棚370L)	1 (書棚370L)	1	1	1	1	1	1
扉	-				片開き扉 (アルミ扉)	片開き扉 (アルミ扉)	-		片開き扉		-	収納開き戸 (734幅)
	-				1	1	-		-	1	-	1
棚板	書棚用棚板セット 3枚入り		書棚用棚板セット 6枚入り		ガラス棚板 セット	ガラス棚板 セット	(本体同梱)		(本体同梱)		書棚用 棚板セット 6枚入り	(本体同梱)
	1	2	1	2	1	1	-		-		1	-
収納開き戸用 下部ストッパー	-				-	-	-	-	-		-	2

2. 部材・部品一覧

■ 本体

	ウッド			サニタリー			スリッパ 収納	ニッチ	書棚			
	370S	370M	740M	370S (引戸)	370M	370L	370L	370L	370L	740L	370H	740H
本体	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
自在棚	1	2	2	3	3	3	-	-	-	-	-	-
棚ダボ	4	8	8	12	12	12	-	-	-	-	-	-
固定用ビス(φ3.8×51長押ビス)	4	4	6	4	6	8	6	6	6	6	10	10
連結ワッシャー	4	4	6	4	6	8	6	6	6	6	10	10
連結キャップ	4	4	6	4	6	8	6	6	6	6	10	10
穴隠しキャップ(φ3)	4	4	-	-	4	4	4	-	8	-	-	-
クリアバンポン	2	2	4	-	2	2	2	-	-	-	-	-
プッシュオープン金具本体	1	1	2	-	1	1	1	-	-	-	-	-
プッシュオープン金具シェル	1	1	2	-	1	1	1	-	-	-	-	-
プッシュオープン金具取付座	1	1	2	-	1	1	1	-	-	-	-	-
プッシュオープン金具取付ビス (M3×10皿ビス)	2	2	4	-	2	2	2	-	-	-	-	-
ダウンライト	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

■ 本体

	ディスプレイ		ミラーシェルフ		ルーム ポケット
	370S 有孔ボード	370S マグネットボード	370M	370L	370M
本体	1	1	1	1	1
自在棚	-	-	1	2	-
棚ダボ	-	-	4	8	-
固定用ビス(φ3.8×51長押し)	4	4	4	6	10
連結ワッシャー	4	4	4	6	10
連結キャップ	4	4	4	6	10
穴隠しキャップ φ3	8	8	8	8	-
クリアバンポン	2	2	2	2	-
プッシュオープン金具本体	-	-	1	1	-
プッシュオープン金具シェル	-	-	1	1	-
プッシュオープン金具取付座	-	-	1	1	-
プッシュオープン金具取付ビス (M3×10皿ビス)	-	-	2	2	-
コンセント・モジュラジャック本体 (プレートカバー含む)	-	-	-	-	-
コンセント・モジュラジャック用 取付けビス(M3.5×16トラスビス)	-	-	-	-	-
コンセント台	-	-	-	-	-
コンセント台取付ビス (M3.3×40スレンダーヘッド)	-	-	-	-	-
一口コンセント	1	1	-	1	-
コンセントブラケット	1	1	-	1	-
コンセントカバー	1	1	-	1	-
コンセントブラケット取付ビス (M4×16皿ビス)	2	2	-	2	-

■ 扉

	ウッド扉		アルミ扉 ※S/M/L 共通	収納開き戸	
	片開き S/M/L	両開き Mのみ	片開き	1800高・734幅用	
扉本体	1	2	1	2	※ 収納開き戸 同梱の施工 説明書参照
丁番	2	4	2	-	
丁番プレート	2	4	2	-	
取付ビス (φ3.5×16皿フレキビス)	8	16	4	-	
アルミ扉用丁番取付ビス (φ4×7皿ビス)	-	-	4	-	

	ストック キーパー
本体	1
自在棚	4
棚ダボ	16
固定用ビス(φ3.8×51長押し)	10
連結ワッシャー	10
連結キャップ	10
クリアバンポン	4
上部ストッパー	1
上部ストッパー取付ビス (M3.1×20皿ビス)	2
スライド丁番	6
スライド丁番 受座	6

■ カウンター

	ニッチカウンター	引戸カウンター
	370	370
カウンター本体	1	1
仮固定ネジ(M6×20トラスネジ)	2	-
本固定ビス(M4×25トラスビス)	4	-
サニタリーカウンター固定ビス (φ3.8×25スレンダーヘッド)	-	3
連結ワッシャー	-	3
連結キャップ	-	3

■ 棚板

	書棚用棚板		ガラス 棚板
	3枚入	6枚入	3枚入
棚板本体	3	6	3
書棚用 棚ダボ	12	24	-
ガラス棚板 手前側用棚ダボ	-	-	6
ガラス棚板奥側用棚ダボ	-	-	6

■ 下部ストッパー(ストックキーパー用部材)

	下部 ストッパー
下部ストッパー 本体	1
下部ストッパー 受座	1
取付ビス(φ3.5×12トラスビス)	4

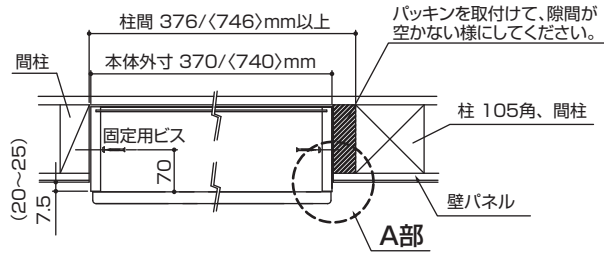
3. 各電材の仕様

製品	部材	仕様	
ディスプレイ ミラーシェルフ (370L)	コンセント	定格電流・電圧	15A・125V
		適用電線(現場手配)	VVFケーブルφ1.6mm, φ2mm Cu(銅)単線専用
ニッチ	ダウンライト	定格電圧	100V
		消費電力	1.4W
		定格周波数	50/60Hz
		適用電線(現場手配)	VVFケーブルφ1.6, φ2(銅)単線専用

4. 納まり図

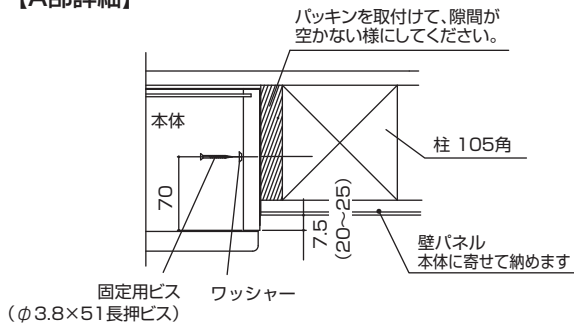
本体納まり (開戸/引戸共通)

【横断面図】

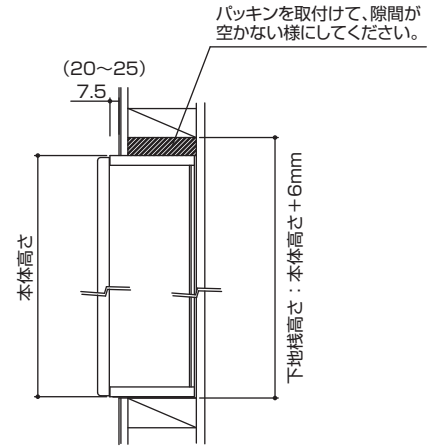


※ 〈 〉 内はW740の寸法

【A部詳細】



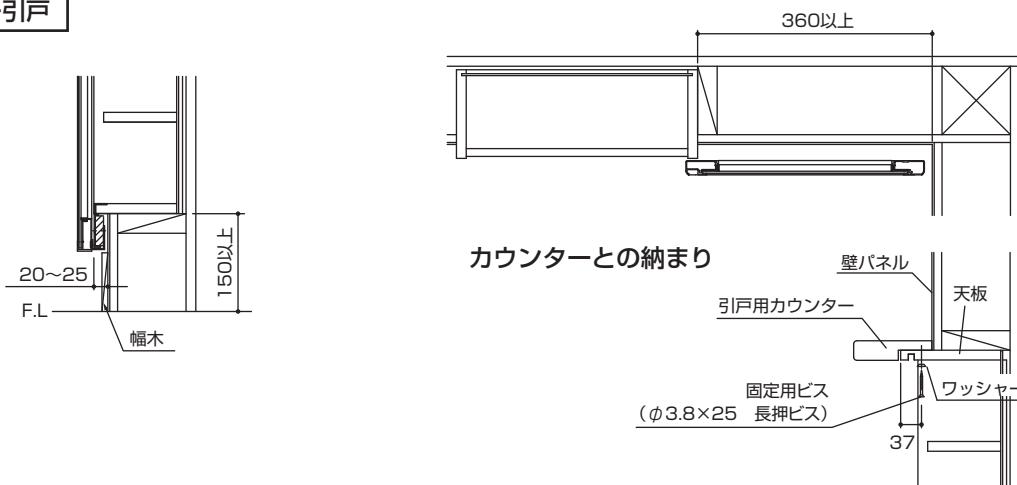
【縦断面図】



※ () 内寸法はサニタリー引戸の場合

サニタリー引戸

※設置に際しては、以下図の必要寸法以上のスペースを確保してください。

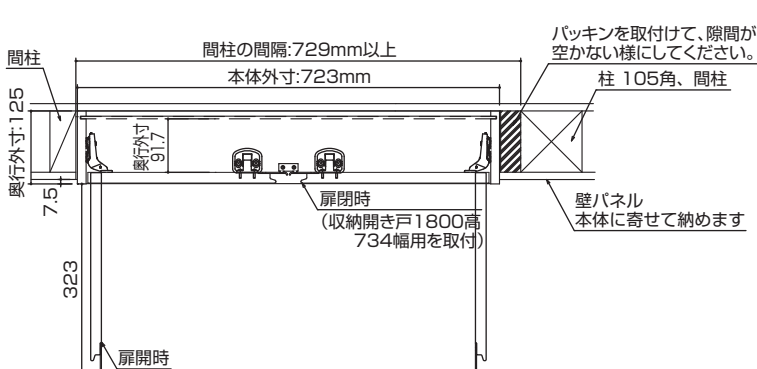


カウンターとの納まり

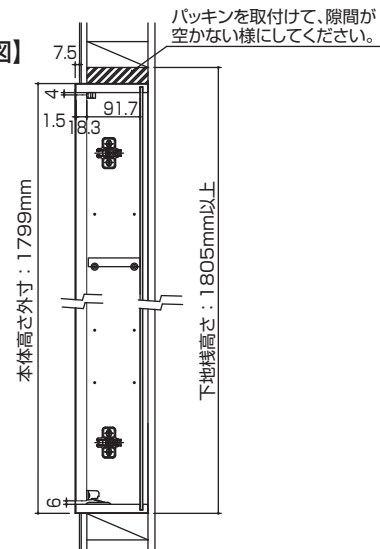
※天板にはリード穴加工を施しています。(3ヶ所)

ストックキーパー

【横断面図】



【縦断面図】

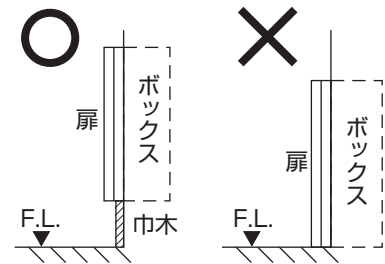


5. 取り付け前の準備と確認

1. 設置箇所の確認

本体製品すべて

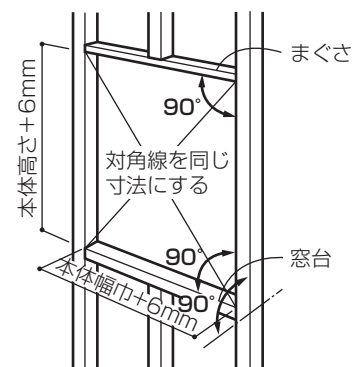
- 扉の開閉に支障のない箇所であることを確認してください。
- 床仕上げ面と本体下端の間には、必ず巾木などのスペースを設けてください。床仕上げ面に接する高さに設置すると、扉が開かなくなるおそれがあります。
- 外壁に面した内壁に設置する場合は、必ず本体裏板と壁内部との隙間に適切な厚みの断熱材を入れてください。



2. 開口部の確認

本体製品すべて

- 製品本体上部と下部に必ずまぐさと窓台をそれぞれ設けてください。
- 開口部の幅、高さは以下の寸法を確保してください。
 - ・幅 : 製品本体高さ (外寸) +6mm
 - ・高さ : 本体幅 (外寸) +6mm
- 開口部分の対角線が同じ寸法になっていることを確認してください。
- 柱が垂直であること、まぐさと窓台が水平であることを下げ振りや水準器を用いて確認してください。



お願い

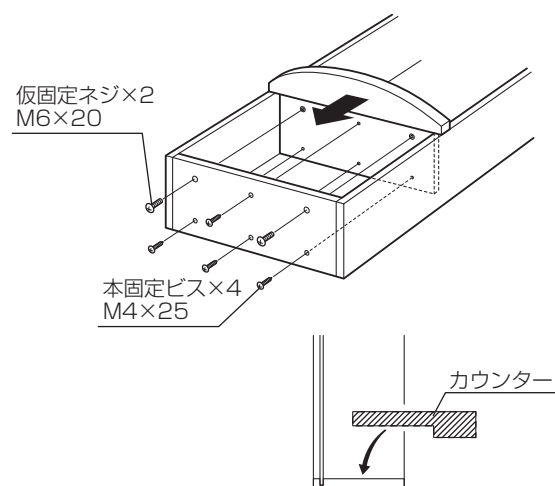
「ニッチ」「ディスプレイ」「ミラーシェルフ370L」は設置時に配線工事を必要とします。配線用の隙間を設けてください。また必要に応じて、間柱に配線用の加工を実施して下さい。(配線箇所はP.13に記載)

3. カウンターの取付け ※サニタリー引戸をのぞく

サニタリー開き戸

ニッチ

1. ユニット底板のリード穴 (φ10×5) 2箇所とカウンターに埋め込まれているオニメとを連結し、仮固定ネジ (M6×20トラスネジ) でカウンターを仮固定して下さい。
2. リード穴 (φ8×5) 4箇所から本固定ビス (M4×25トラスビス) でカウンターを固定して下さい。



お願い

「サニタリー開き戸タイプ」「ニッチ」は、必ず本体を壁に固定する前に本体にカウンターを取り付けてください。本体を壁内に取り付けただ後でカウンターを設置することはできません。

お願い

「サニタリー引戸タイプ」に「サニタリー引戸用カウンター」を取り付ける場合は、本体を壁内に施工いただいた後にカウンターを取り付けてください。(P.17に記載)

1.	安全上の ご注意
2.	製品 寸法図
3.	部品 部材表
4.	納まり 図
5.	施工前 の準備・ 確認
6.	施工 方法
7.	ご使用 上の 注意

4. 配線の準備(配線孔の確認)

ニッチ

ディスプレイ

ミラーシェルフ



警告



電気工事は、関連する法令や規定を遵守し、必ず「有資格者」が行ってください。接続や固定が不完全である場合、感電や火災が発生する原因となります。

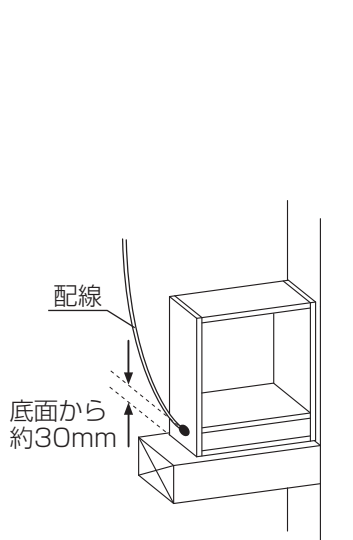
1. 以下の表に示すとおり、設置する製品にあわせて指定の電源線を準備してください。

製品	部材	適用電線（現場手配）
ディスプレイ	コンセント	VVFケーブルφ1.6mm、φ2mmCu（銅）単線
ミラーシェルフ（370L）	コンセント	VVFケーブルφ1.6mm、φ2mmCu（銅）単線
ニッチ	ダウンライト	VVFケーブルφ1.6mm、φ2mmCu（銅）単線

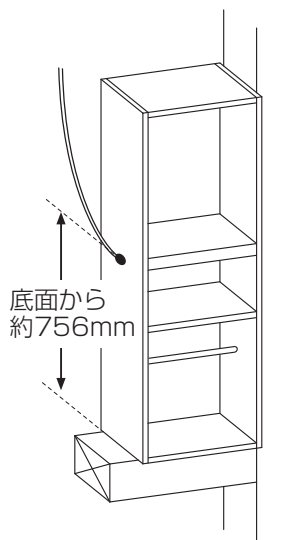
2. 壁内に配線を行ってください。配線位置は以下の表を参照してください。

製品	配線孔	孔径[mm]	配線箇所
ディスプレイ	孔加工済み (現場加工不要)	φ20	左側板・右側板のいずれか 底板下面より約30mm
ミラーシェルフ（370L）			左側板・右側板のいずれか 底板下面より約756mm
ニッチ		φ90	固定棚と天板の間 底板下面より約1123~1188mm

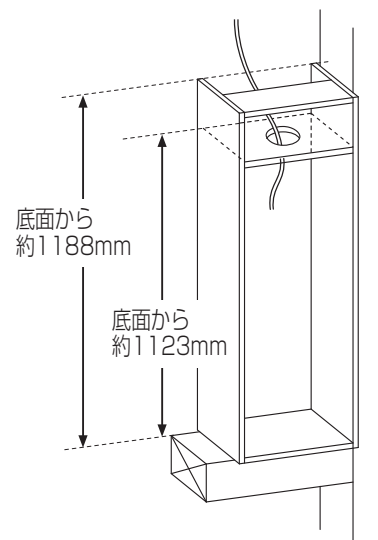
〈ディスプレイ〉



〈ミラーシェルフ 370L〉



〈ニッチ〉

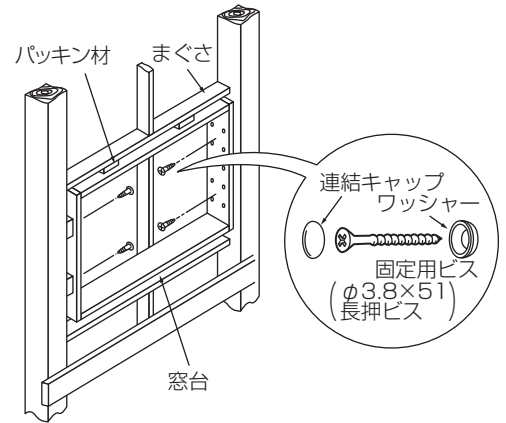


6. 取り付け方法

1. 本体の取付け

本体製品すべて

1. 本体を開口部に設置してください。
 - ・本体は開口部下側の窓台に乗せるようにして設置してください。
 - ・本体と柱の間、および天板とまぐさの間はパッキン材（現場調達）で納めてください。
2. ドリルドライバーを用いて、本体を柱・パッキン材に固定します。同梱されている固定用ビス・ワッシャーを用いて本体の側板を収納内部から柱・パッキン材に固定してください。



注意

同梱されている固定用ビス・ワッシャーを全て用いて固定してください。

お願い

- ・本体と柱やパッキン材との間に隙間がないことを必ず確認してください。
- ・本体を固定する前に、ビス固定位置が自在棚やコンセント台、丁番と干渉しない位置であることを必ず確認してください。
- ・ビスが取り付けにくい場合は、電動ドリルで本体にリード穴を開けてから取り付けてください。

2. 結線・電材の取付け

ニッチ

ディスプレイ

ミラーシェルフ



警告



コンセント・照明の結線を行う場合は、必ず「電気工事士」の資格を有する方が行ってください。

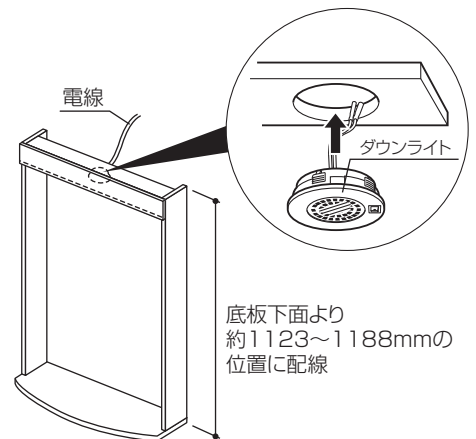
お願い



コンセントを取り付ける際は、手回しドライバーを使用してください。

●ニッチ

1. ニッチ本体を壁の開口部に取り付けながら、本体天板の開口部より収納内部に電線を引き込んでください。
2. ダウンライトを結線してください。
3. ダウンライトを、照明取付板の孔（φ90）にしっかりとツバが当るまで差し込んでください。



お願い

- ・ダウンライトにはライト本体にスイッチが付属しています。別途壁面にスイッチを設置する場合は現場で手配してください。
- ・オフライトスイッチや人感センサーを使用される場合、スイッチをOFFにしてもLEDがぼんやり点灯・点滅することがあります。

1. 安全上の
ご注意

2. 製品
寸法図

3. 部品
部材表

4. 納まり
図

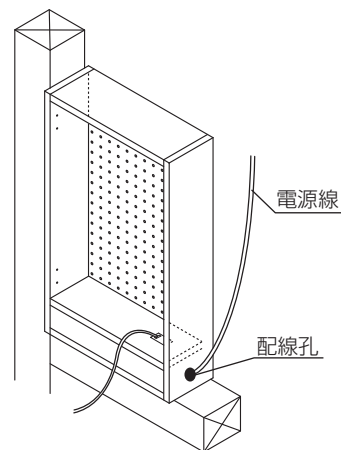
5. 施工前
の準備・確認

6. 施工
方法

7. 使用
上の注意

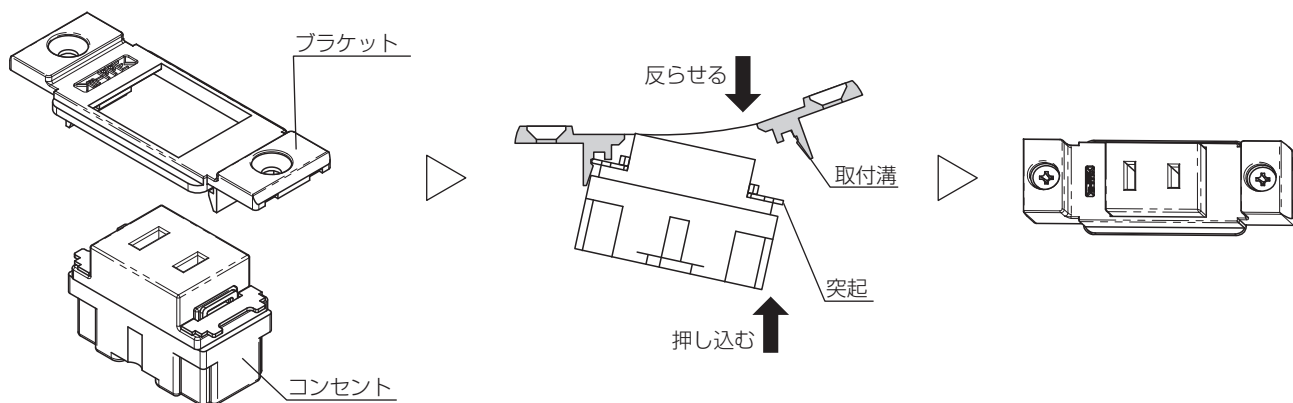
●ディスプレイ・ミラーシェルフ370L

1. 本体の配線孔より収納内部に電源線をひきこんで下さい。
2. ブラケットにコンセントを取りつけます。
ブラケットの取付溝に、コンセント側面の突起部分を「パチン」と音がするまで強く押しつけて下さい。

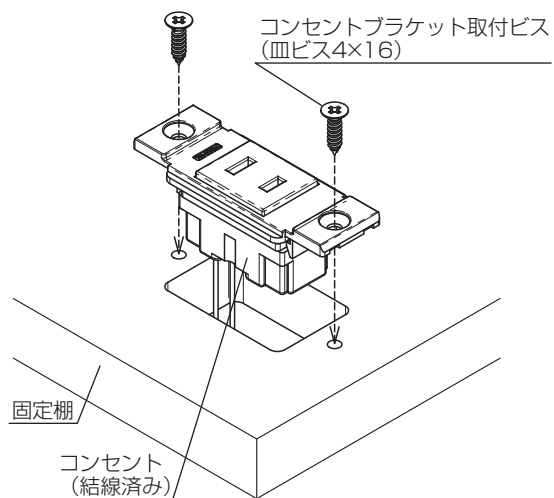


お願い

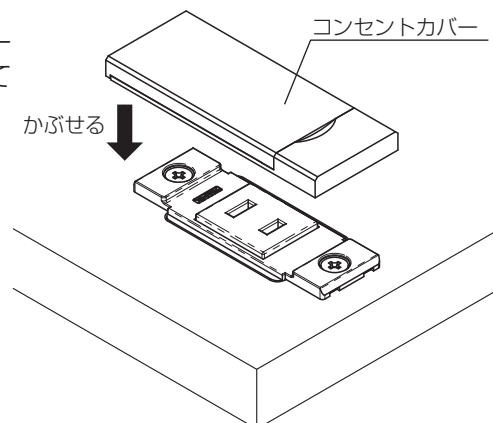
- ・コンセント脱落防止のため、ブラケットとコンセントが固く組み付く仕様になっています。そのため取り付け時に非常に固く感じる場合があります。
- ・取り付けづらい場合は、コンセントの片側の突起をひっかけたのちにブラケットを反らせるようにした状態でコンセントを押し込むと取り付けやすくなります。



3. コンセントを結線して下さい。
4. ブラケットとコンセントを固定棚に取りつけます。
付属のビスを用いて取りつけて下さい。



5. スペースブラケットにカバーをかぶせます。
スライドする部分が左にくるようにしてカバーをスペースブラケットにかぶせて「パチン」と音がするまで押しつけて下さい。



3. 自在棚の設置

本体製品

●自在棚

ウッド

サニタリー

ミラーシェルフ

ストックキーパー

1. 本体側板のダボ穴に棚ダボを取り付けてください。
2. 自在棚をダボの上から落としこんで設置してください。

●書棚用棚板

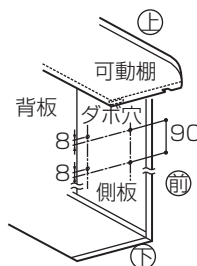
書棚

ルームポケット

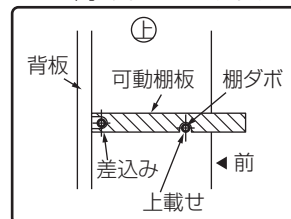
1. 本体側板のダボ穴に棚ダボを取り付けてください。
2. 棚板の奥側木口面の溝を奥側のダボに差し込んでください。
3. 棚板を手前に倒し、手前側のダボに載せてください。

書棚用棚板

上下に注意して壁に納めてください。



奥のダボ穴が前ダボ穴より8mm高くなっています。



●ガラス棚板

飾り棚

姿見

1. 本体側板のダボ穴に棚ダボを取り付けてください。

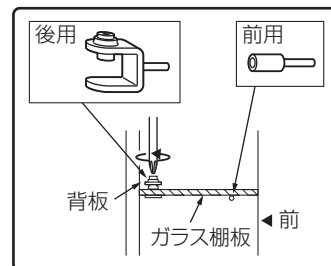
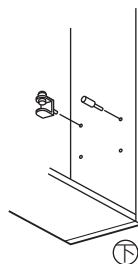
お願い

手前側に取り付けるダボと奥側に取り付けるダボとは形状が異なります。

2. ガラス棚板を奥側ダボに差し込み、手前側ダボの上に乗せてください。
3. 奥側のダボのねじを締め、ガラス棚板が動かないように固定してください。

ガラス棚板

※書棚本体とルームポケット本体のみ取り付け可

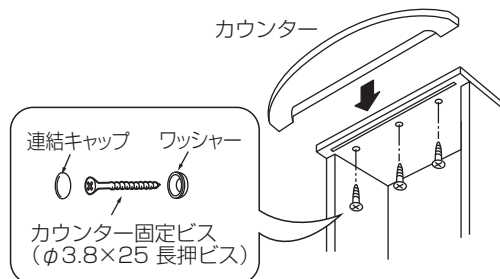


4. サニタリー引戸用カウンターを設置

※サニタリー(引戸)のみ

サニタリー引戸

1. カウンターの溝部分を本体天板に載せてください。
2. カウンターの裏側のリード穴から、カウンター固定ビスとワッシャーを用いて、カウンターと本体を固定してください。



! 丁番を取り付ける際、および調整の際は、手回しドライバーを使用してください。

●ウッド扉・アルミ扉を取り付ける場合

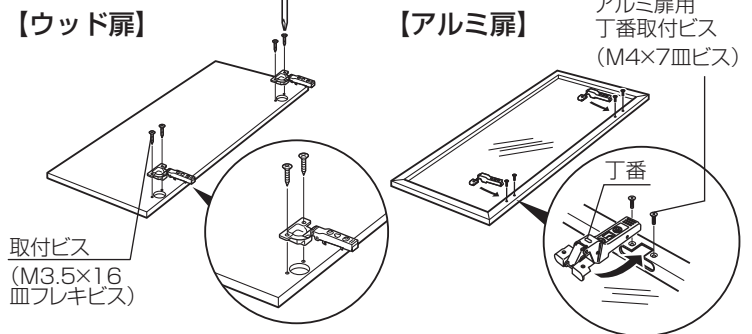
1. 丁番本体を扉に取り付けます。
扉裏面のカップホールに丁番本体をはめこみ、アルミ扉用丁番取付ビスまたは取付ビスを用いて扉と丁番とを固定してください。
2. 丁番プレートを本体に取り付けます。
本体側板のリード穴に丁番を当て、取付ビスで固定してください。

お願い

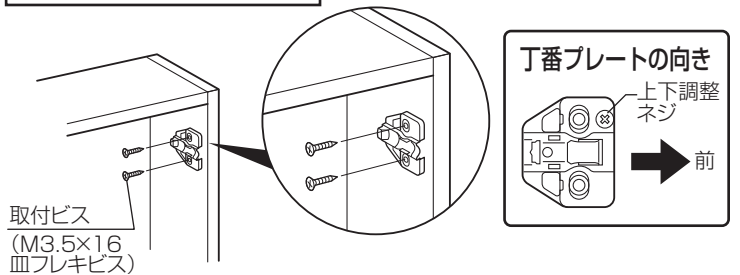
- ・必ず扉の左右勝手を確認してから丁番プレートを取り付けてください。
- ・丁番プレートの取付け向きに注意してください。
(上下調整ネジが手前側にくるように取り付けてください。)
- ・ビスは、必ず手回しドライバーで固定してください。ビスを締めすぎると空回りして、適正なビス保持力がでないおそれがあります。

ウッド サニタリー スリッパ収納
姿見 飾り棚 ミラーシェルフ

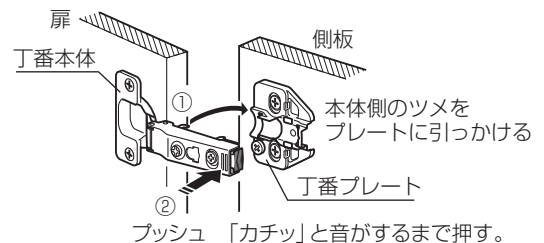
丁番本体の取付け



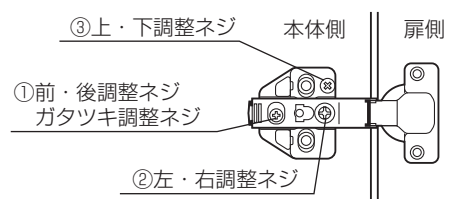
丁番プレートの取付け



3. 扉を本体に取り付けます。
扉に取り付けた丁番を本体に取り付けた丁番プレートに差し込み、カチッと音が鳴るまで押し込んでください。



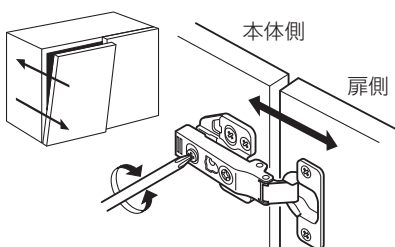
4. 扉の調整を行います。
以下の図を参考に、扉位置の前後・左右・上下調整を行ってください。
位置調整は、丁番や丁番プレートの調整ネジで行います。



扉の前・後調整

(調整範囲：3.5mm)

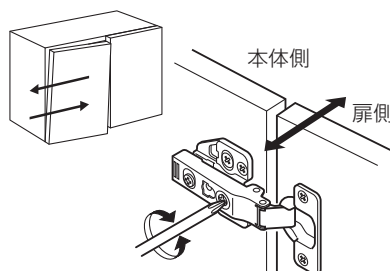
前・後調整ネジをゆるめ扉を調整後、締め直してください。



扉の左・右調整

(調整範囲：6mm)

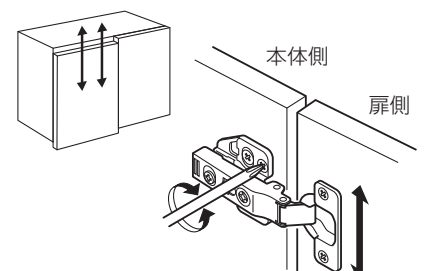
前・後調整ネジを締めたまま左・右調整ネジを回して扉を調整してください。



扉の上・下調整

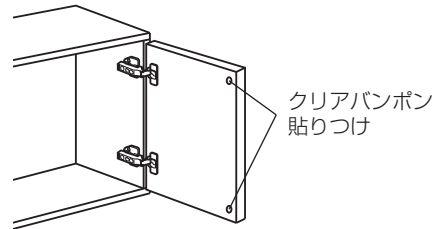
(調整範囲：4mm)

上・下調整ネジをゆるめて上・下調整した後、締め直してください。



5. ※ウッド扉のみ
クリアバンポンを貼りつけます。
扉の裏面の、戸先側の角部分2ヶ所に貼りつけてください。

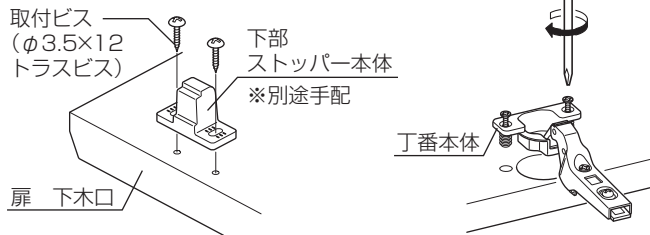
6. 残った丁番用下穴に穴隠しキャップ
(φ3、ホワイト)を取り付けます。



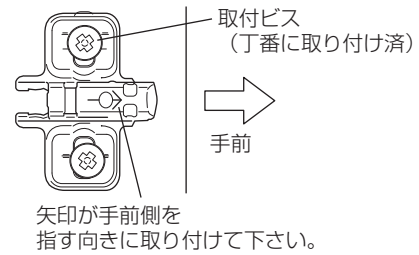
●ストックキーパー扉（収納開き戸）

ストックキーパー

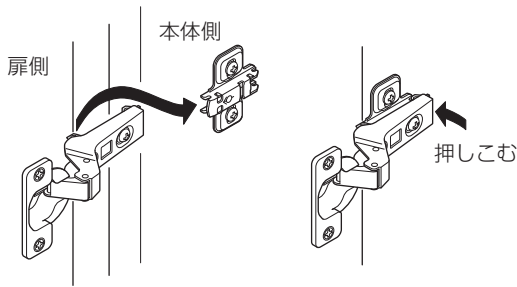
1. ストックキーパー扉（収納開き戸）に
下部ストッパー本体、丁番本体を取り
付けて下さい。



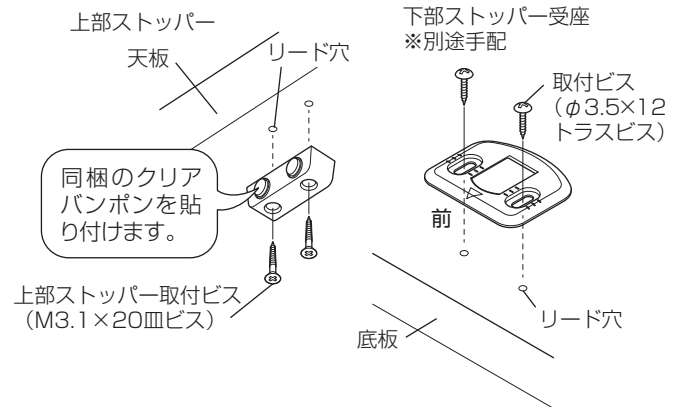
2. ストックキーパー本体の側板に
丁番の受座を取り付けて下さい。



3. 扉を本体に吊り込みます。
扉に取り付けた丁番を、本体に取り付けた
受座に差しこみ、カチッと音が鳴るまで
押し込んで下さい。



4. 本体天板上に上部ストッパー（1ヶ所）、
底板2ヶ所にドアストッパー受座（2ヶ所）
を取り付けて下さい。

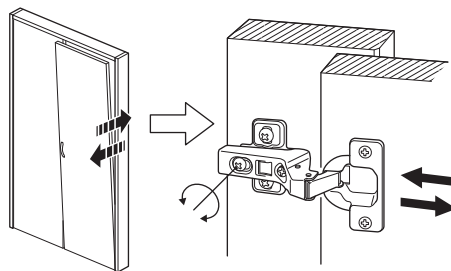


5. 扉の調整を行います。
以下の図を参考に扉位置の前後・左右・上下調整を行って下さい。

扉の前・後調整

(調整範囲：4mm)

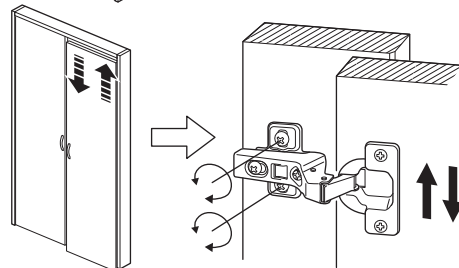
前後調整ネジをゆるめ、
扉を調整後、
締め直してください。



扉の上・下調整

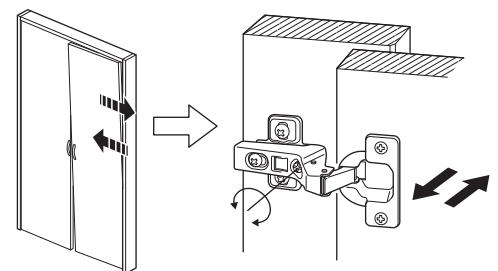
(調整範囲：4mm)

上下調整ネジをゆるめ、
扉を締め直してください。



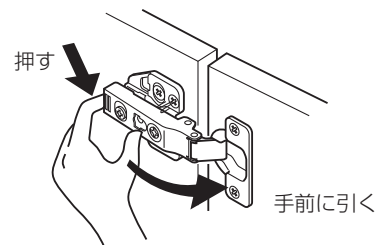
扉の左・右調整（調整範囲：4mm）

左右調整ネジを回して調整してください。



お願い <扉の外し方>

扉をはずす際は、丁番本体奥側にあるつまみを押しなが
ら扉を手前に倒して、定番本体を受座から外してください。



1. 安全上の
ご注意

2. 製品
寸法図

3. 部品
材表

4. 納まり
図

5. 施工前
の
準備・確認

6. 施工
方法

7. 使用
上の
ご注意

6. プッシュオープン金具の取付け(ウッド扉用)

ウッド扉

! プッシュオープン金具を取り付ける際は、手回しドライバーを使用してください。

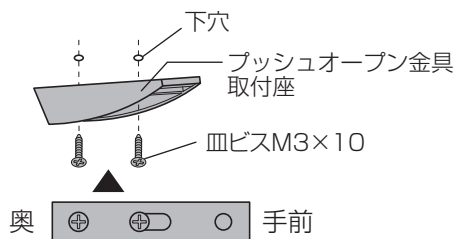
1. プッシュオープン金具の取付座を本体の下穴に取り付けます。取付位置は以下のとおりです。

●**ウッド/スリッパ収納**

天底裏面に取り付けます。

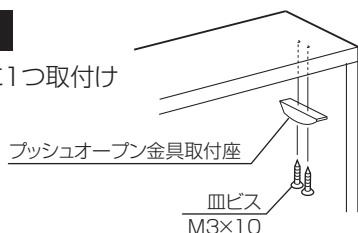
●**ミラーシェルフ/サニタリー**

固定棚裏面に取り付けます。



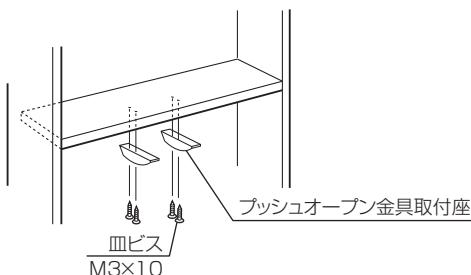
片開き

戸先側に1つ取付け

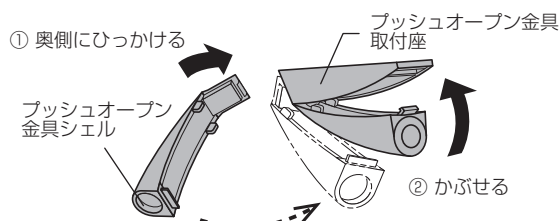


両開き

中央に2つ取付け

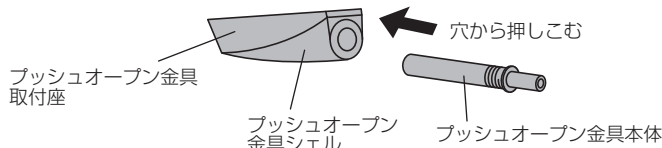


2. プッシュオープン金具取付座を本体に取り付けた後で、プッシュオープン金具シェルのつめをプッシュオープン金具取付座の奥側にひっかけて、プッシュオープン金具シェルのプッシュオープン金具取付座にかぶせます。



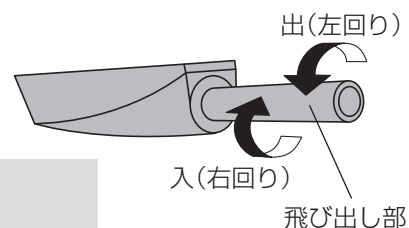
お願い 「カチッ」と音がするまでかぶせてください。

3. プッシュオープン金具シェルの穴にプッシュオープン金具本体をしっかりと押しこみます。



4. 飛び出し部の長さの調整を行います。

飛び出し部の長さは棚板前木口より1.4mmを標準としていますが、開きにくい場合は、右図のようにプッシュオープン金具本体を回して飛び出し量を調整してください。



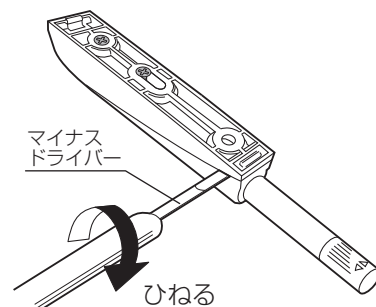
お願い 調整範囲0 (出荷時) ~6mm (入方向) まで調整できます。飛び出し部を回すと調整できますが、回転が止まった時点でそれ以上回さないでください。破損の原因になります。飛び出し部の長さが長すぎると扉が閉まりきらない状態になるおそれがあります。

お願い プッシュオープン金具の取外しについて

- プッシュオープン金具をやむを得ず取り外すときは、以下の手順で取り外してください。

1. プッシュオープン金具取付座とプッシュオープン金具シェルの手前側つなぎ目にマイナスドライバーを差し込みひねります。
2. プッシュオープン金具シェルと本体をプッシュオープン金具取付座から取り外します。
3. カベピタ本体からプッシュオープン金具取付座を取り外します。

- 一度取り外したプッシュオープン金具は再利用できませんのでご注意ください。



7. 製品のお取り扱いについて

取扱説明書



警告



扉にもたれかかったり、ぶらさがったりしないでください。
扉の脱落や破損によるけがの原因になります。



電源コンセントは表示容量を超えて使用しないでください。
発熱による火災の原因になります。



水の入ったものを置いたり、水をかけないでください。
ショート・感電のおそれがあります。



電源はAC100V以外では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



注意



耐荷重よりも重いものを乗せたり収納しないでください。
破損や落下によるけがの原因になります。

<耐荷重>

- ・ストックキーパー(棚板)…5kg/枚
- ・ディスプレイ(有孔ボード・マグネットボード)…3kg/枚
- ・その他製品(棚板・カウンター)
W370のとき…5kg/枚
W740のとき…10kg/枚



ガラス棚に局所的な荷重をかけないでください。
棚が破損してけがをするおそれがあります。



濡れたものや熱いもの、蒸気が出るものを収納しないでください。
サビや変形、変色の原因になります。

お願い

<ニッチダウンライトについて>
ダウンライト本体には、スイッチが付属しています。
壁付スイッチで操作をする際は、本体のスイッチをオンにした状態でご使用ください。
本体スイッチがオフの状態ですと、壁付スイッチの操作はできません。

1. お手入れのしかた

- 日常のお手入れは、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れが著しい場合は、うすめた中性洗剤につけた雑巾を固く絞ってふいた後、乾拭きして水分が残らないようにしてください。

お願い

酸・アルカリ性洗剤、アルコール、有機溶剤（シンナー、ベンジン）、研磨剤、研磨剤入りスポンジ、およびたわしは使用しないでください。
表面のツヤが消失したり、変色するおそれがあります。

1. 安全上の
ご注意

2. 製品
寸法図

3. 部品
部材表

4. 納まり
図

5. 施工前
の
準備・確認

6. 施工
方法

7. 使用
上の
ご注意

2. 定期的な点検項目

製品を長期間使用すると、部品などに劣化（経年劣化）が生じ、安全上支障が出るおそれがあります。経年劣化による重大事故を防止し、製品を末永く安全にご使用いただくために、お客様自身で以下の点検を実施いただきますよう、お願いいたします。

点検部位	点検項目	兆候有無	経年劣化進行にともなう具体的な事象
扉	扉がスムーズに開閉できるか。 丁番にガタツキがあるか。	有・無	扉の落下。 丁番の変形や破損。

注意



点検後、上記のような異常が発見された場合は直ちに使用を中止し、施工された工事店様へ連絡し、メンテナンスを受けてください。
そのまま使用されますと、部材の脱落などにより、けがをするおそれがあります。

商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品

カベピタ 壁厚収納

■保証期間

本体扉は引渡し後2年、電材は引渡し後1年とさせていただきます。
弊社商品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間を経過した製品においても、修理可能なものは、有償にて修理を承ります。

■製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても「有料扱い」になります。


- ①建物の設計・施工に起因する不具合
- ②施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- ③自然現象・周辺環境等（※1）の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はその他の不具合
- ④室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことによる隙間・反り・キシミ音などの不具合。

- ⑤極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合
 - ⑥建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
 - ⑦入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する不具合
 - ⑧取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
 - ⑨経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
 - ⑩用途外に使用された場合の故障および損害
（例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合等）
 - ⑪犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキウイムシなどの虫害に起因する不具合
 - ⑫仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
 - ⑬保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
 - ⑭製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する場合
 - ⑮その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合
- ※1：周辺環境等：火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

お問い合わせ窓口について ●製品に関するお取扱い、補修、工事などのご相談は、組立て・設置業者、工務店へ。

製品に関するお問い合わせ

DAIKENお客様センター

 **0120-787-505**
(フリーダイヤル)

●受付時間…平日9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいております)

<https://www.daiken.jp/qr/form01/>

メールで
写真も
送ることが
できます。



修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ

部品のネット販売サイトです。
※購入に際しては登録が必要です。

<https://www.daiken.jp/qr/service/>

[DAIKENホームページ](#) ▶ [お客さまサポート](#) ▶

▶▶▶▶ [DAIKENパーツショップ](#)



ご相談窓口における
個人情報のお取扱い

大建工業株式会社および大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。）なお、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。